

1.開戦時、S16/12/8 小学校 6 年生、S17/4 以降旧性中学校 1 年 配属将校配置 軍人勅諭 M15 制定、青少年学徒に賜りたる勅語 S14 制定、学徒動員法 S18 制定、1 年生大治町へ稲刈り動員、2 年生市電の浄心車庫に配属され車掌をする。3 年生は、船方近くで市バスのエンジン整備員をする。5/14B29 の焼夷弾で名古屋城と共に北区清水町の自宅も消失。

S20/3/10～3/20 まで、東京、名古屋、大阪は、B29 による無差別夜間爆撃が順次 3 回続いていた。

2.人の形成、誰でも親は選べないので家庭の中で育つ、向こう 3 軒両隣、自治会、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学を通じて法律をはじめ色々な制約の下に、道徳、習慣、倫理、文化など色々な価値観を身に着けていく。企業、自営業、或いは、独自の業務に着くことになり余計価値観が変わる。関係社会のコミュニケーションが、必要だ。

3.問題提起、人により価値観、考え方が違う。育ちと、環境で 10 人 10 色である。建前と本音、忖度。聞く側では、誤解や錯覚もあります。

育ち → 遺伝。 環境 → (自然) (人工) (体験) (経験)

富士山麓では、2500m以上で「カモシカ」が生活していたが、近年、下から「日本シカ」が、食べ物を求め侵略を始めたと聞く。頭数増加、温度。人は、自分は、他人と違うと思う一方、他人と一緒にありたいという相矛盾する感性を持っている。好みの社会の(先行) (中程) (後方) (無関心) のどの位置にいるだろう。

明治時代に樋口一葉が小説を書き、その中身の一部を実行する。人が真似る。

今では、「ドラマは、現実より奇なり」反対に「現実は、ドラマより奇なり」を繰り返している。コミュニケーションと調和が必要になって来る。

4.進化論について、チャールス・ダーウィン 1809 年生まれたイギリス人。

1859 年に「種の起源」を発表した。

生物は自然選択によって常に環境に適応するように変化し、種が分岐して多様な種が生まれると主張した。そしてこの過程を生存競争、適者生存などの言葉を残した。弱肉強食、自然淘汰とも言う。

その例として大航海時代に地球を一周し、南アメリカ、エクアドル沖西方 430 k m の太平洋にある絶海の孤島「ガラパゴス諸島」に於いて陸上動物である「イグアナ」の一部が海中に潜り苔を主食として生きているのを発見する。

6600 万年前に生物は、長い年月を掛け、細胞から多様な生物をこの地球上に造った。個体発生は、系統発生（過去の変化を）を繰り返す。

恐竜は、6600 万年前に直径 10 k m の隕石がメキシコに落下し、土砂が太陽光を覆い死滅したと言われる。